

中期経営計画 GLP2020

橋本 裕一

アンリツ株式会社
代表取締役 グループCEO

2018年4月27日



東証第1部 : 6754
<https://www.anritsu.com>

Anritsu
envision : ensure

注 記

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

目次

1. GLP2020の基本方針
2. 中長期の事業戦略の基本方針
3. GLP2020: 売上高・営業利益計画
4. GLP2020: 財務戦略
5. GLP2020: T&M事業
6. GLP2020: PQA事業

Blank slide

1. GLP2020の基本方針

- ✓ 『利益ある持続的成長』路線を徹底する
- ✓ 2020VISIONの実現に全力で取り組む



2. 中長期の事業戦略の基本方針

成長ドライバーを確実にキャッチして、
“利益ある持続的成長” を実現する

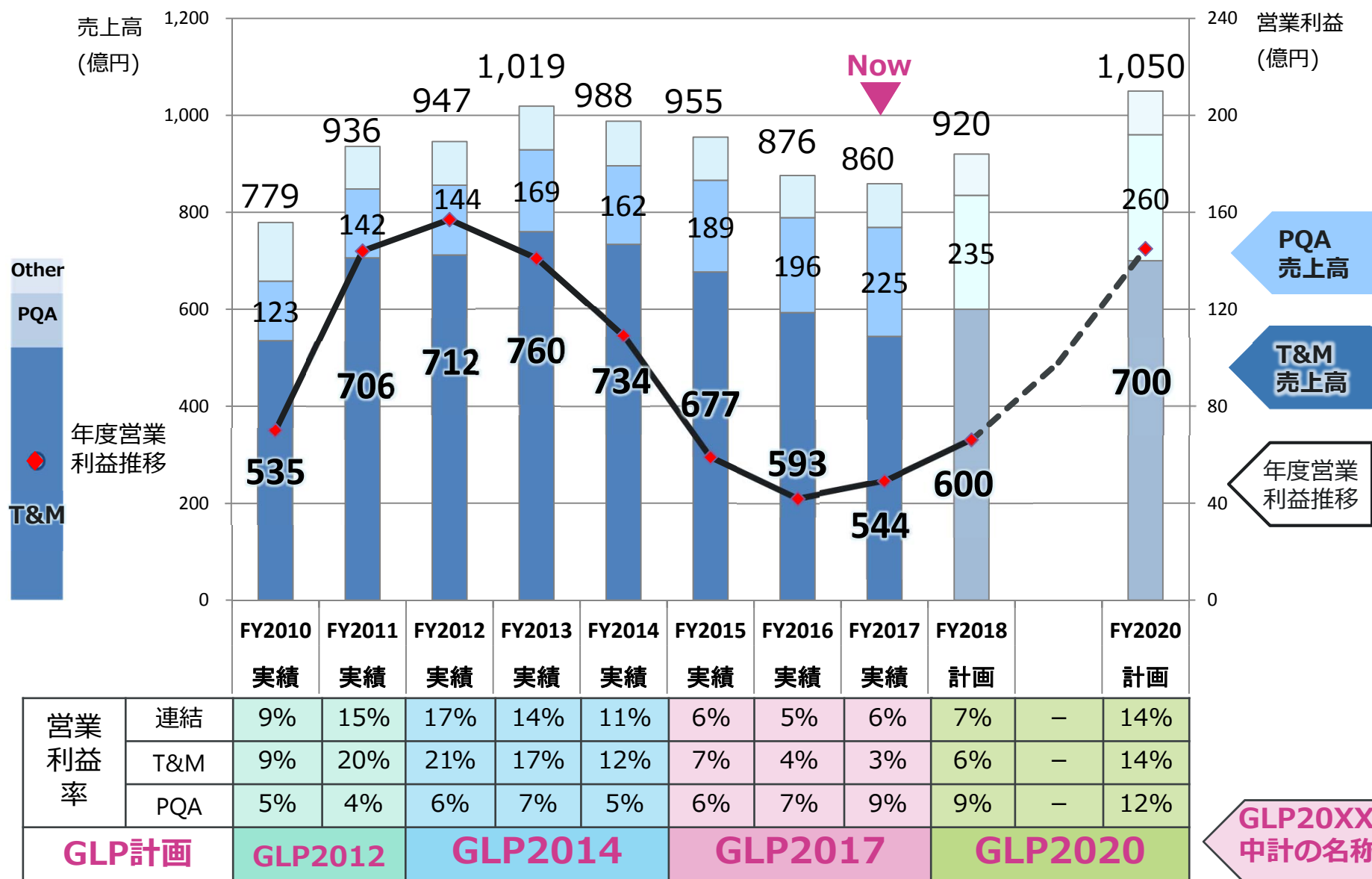
	市場 年平均 成長率 (当社推定)	ビジョン／成長ドライバー	中長期ガイドライン	
			売上 成長率	営業 利益率
T&M	3-5%	5G/IoT社会を支えるリーディング カンパニーになる (1) 5G, LTE-Advanced (2) IoT/Automotive, Connectivity (3) IP Data traffic/Cloud Services	$\geq 7\%$	$\geq 20\%$
PQA	3-5%	ワールドクラスの品質保証 ソリューションパートナーになる 異物検出から品質保証市場に拡大	$\geq 7\%$	$\geq 12\%$
連結	—	—	—	$\geq 18\%$
ROE	—	—	$\geq 15\%$	

3. GLP2020：売上高・営業利益計画（1/2）

指標		FY2017	FY2018	FY2020
売上高		860 億円	920 億円	1,050 億円
営業利益		49 億円	66 億円	145 億円
営業利益率		6 %	7 %	14 %
当期利益		29 億円	50 億円	110 億円
ROE		3.7%	7%	12%
T&M 事業	売上高	544億円	600 億円	700 億円
	営業利益	18 億円	35 億円	100 億円
	営業利益率	3 %	6 %	14 %
PQA 事業	売上高	225 億円	235 億円	260 億円
	営業利益	20 億円	20 億円	30 億円
	営業利益率	9 %	9 %	12 %

（参考）GLP2020想定為替レート：1米ドル=105円、1ユーロ=125円

3. GLP2020：売上高・営業利益計画（2/2）

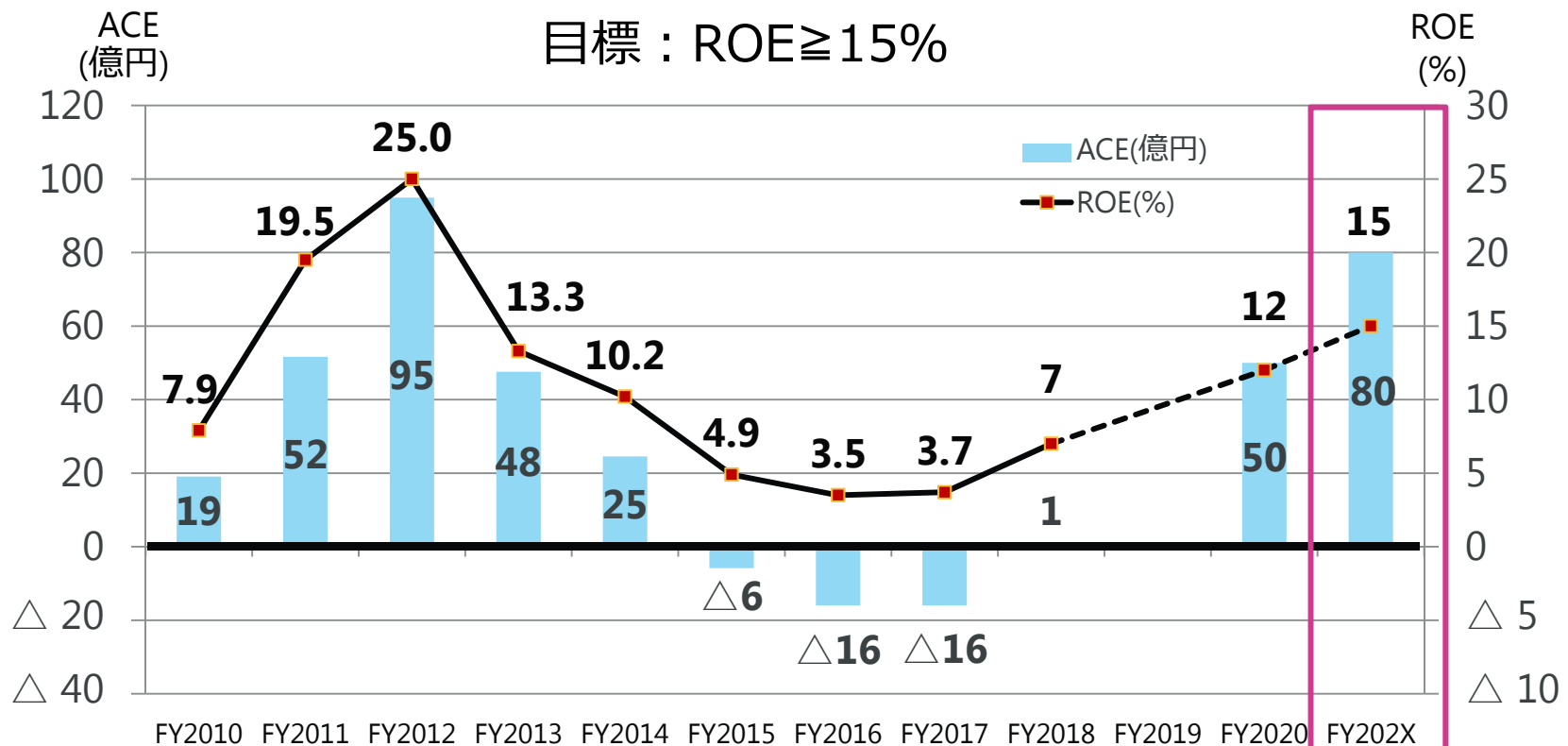


4. GLP2020：財務戦略

基本方針

株主資本コスト7%を上回るリターンを生み出す
成長投資（含むM&A）と資本効率の改善で、
企業価値KPI(ACE & ROE)を向上する

* ACE（Anritsu Capital-cost Evaluation）：税引後営業利益-資本コスト(WACC,5%)



5. GLP2020 T&M事業

アンリツ株式会社
代表取締役 社長
計測事業グループプレジデント

濱田 宏一

5-1. T&M事業：中期経営計画(GLP2017) レビュー

事業環境	施策と成果
モバイル計測市場の大幅な落ち込み ■ モバイル計測市場の規模は、2012年のピークから40%まで落ち込む ■ LTEの基地局の設備投資が一巡 ■ LTEの進化は継続 －LTE-Advanced/ Pro ■ 5Gの初期開発の動きが前倒し － 5 G NSA規格が18年3月末完了 ■ IoTへの投資は揺籃期 光・デジタル計測市場は堅調に推移 ■ データセンター高速化、大容量化実現のための光モジュールの需要拡大	経営構造改革と5G開発投資を強化 ■ 経営構造改革 “REBORN-M” の徹底 ■ 北米の組織スリム化策実行 ■ 5Gビジネスへの投資 － 2018年2月、5G新製品のリリース － Azimuth Systems社の買収 － サポート体制の強化： フィリピン開発センターの設立 ■ IoTビジネスに注力する事業部の設立 光デジタル新製品をTTMに投入 ■ R&D用(400G対応)、製造用(100G対応)の新製品を投入し、市場の要求に応える

5-2. T&M事業： GLP2020 基本戦略

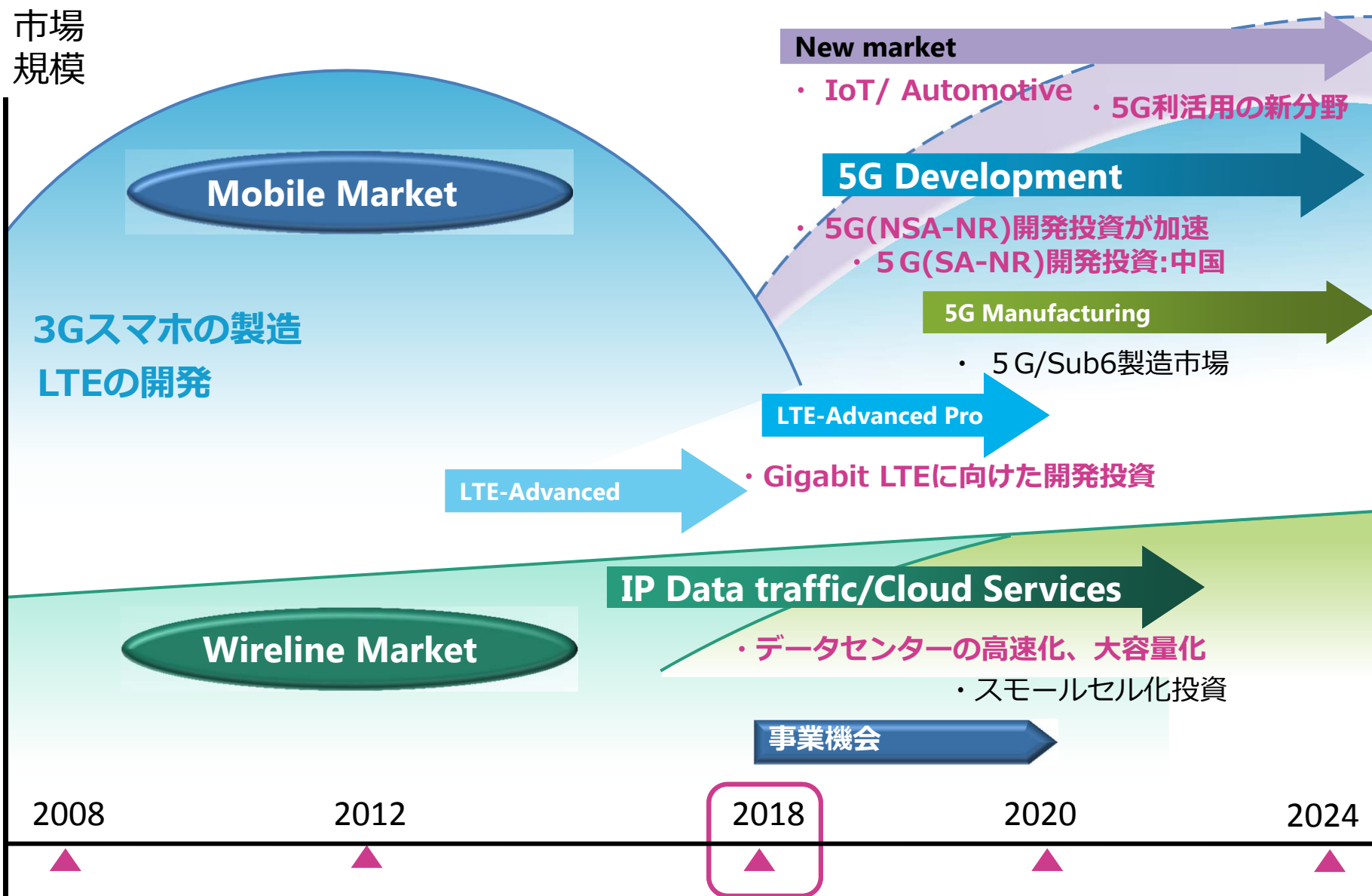
ビジョン

5G/IoT社会を支えるリーディングカンパニーになる

セグメント別戦略の要点

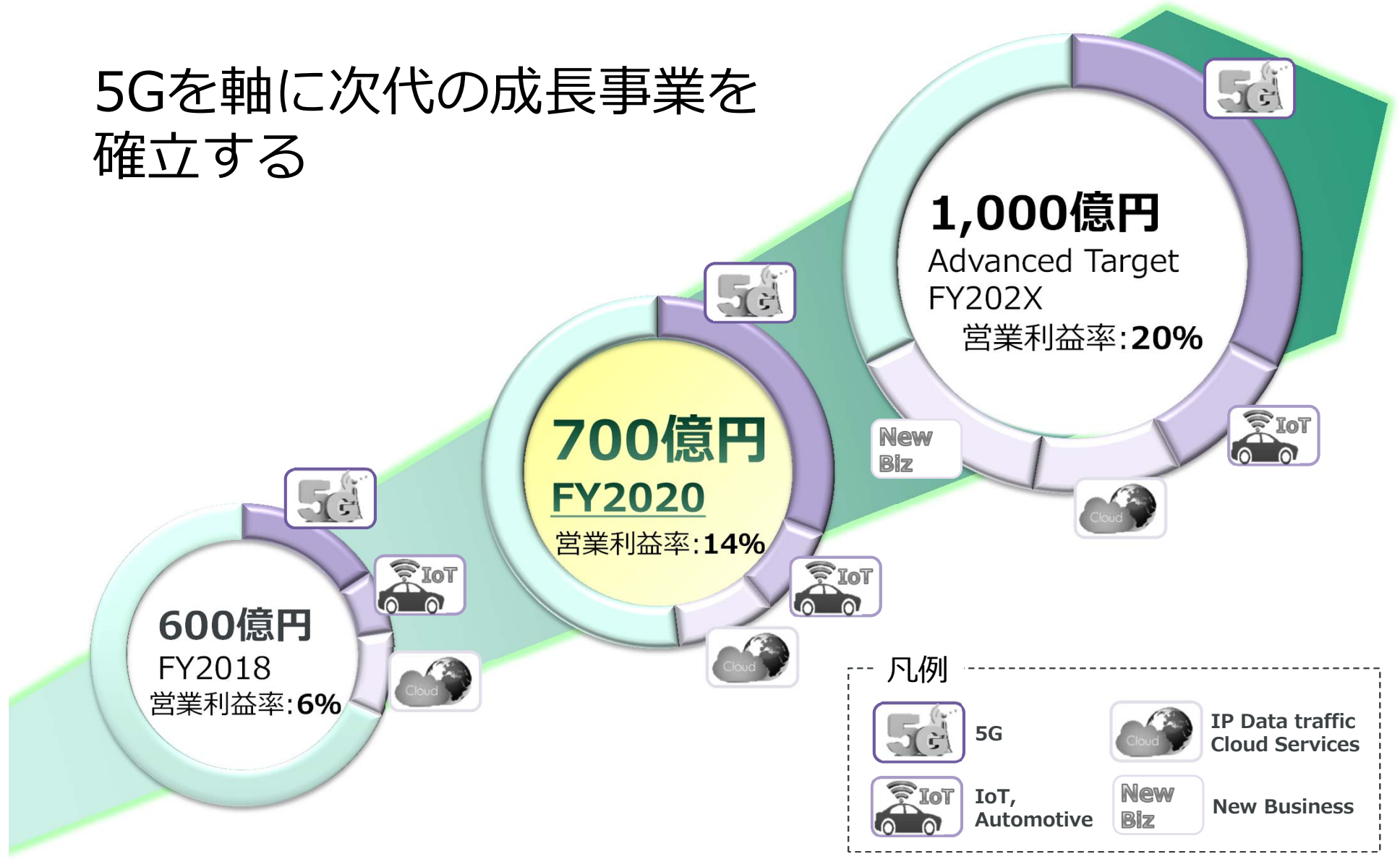
- 4G市場でのビジネスを維持しつつ、5Gで競合に先行しNo.1 T&Mベンダになる
- 5G利活用として成長が期待されるIoT/Automotive分野で新たな収益の柱に育成する
- クラウドサービスの拡大を支えるテストソリューションを創出する

5-3. T&M事業：計測市場トレンドと事業機会

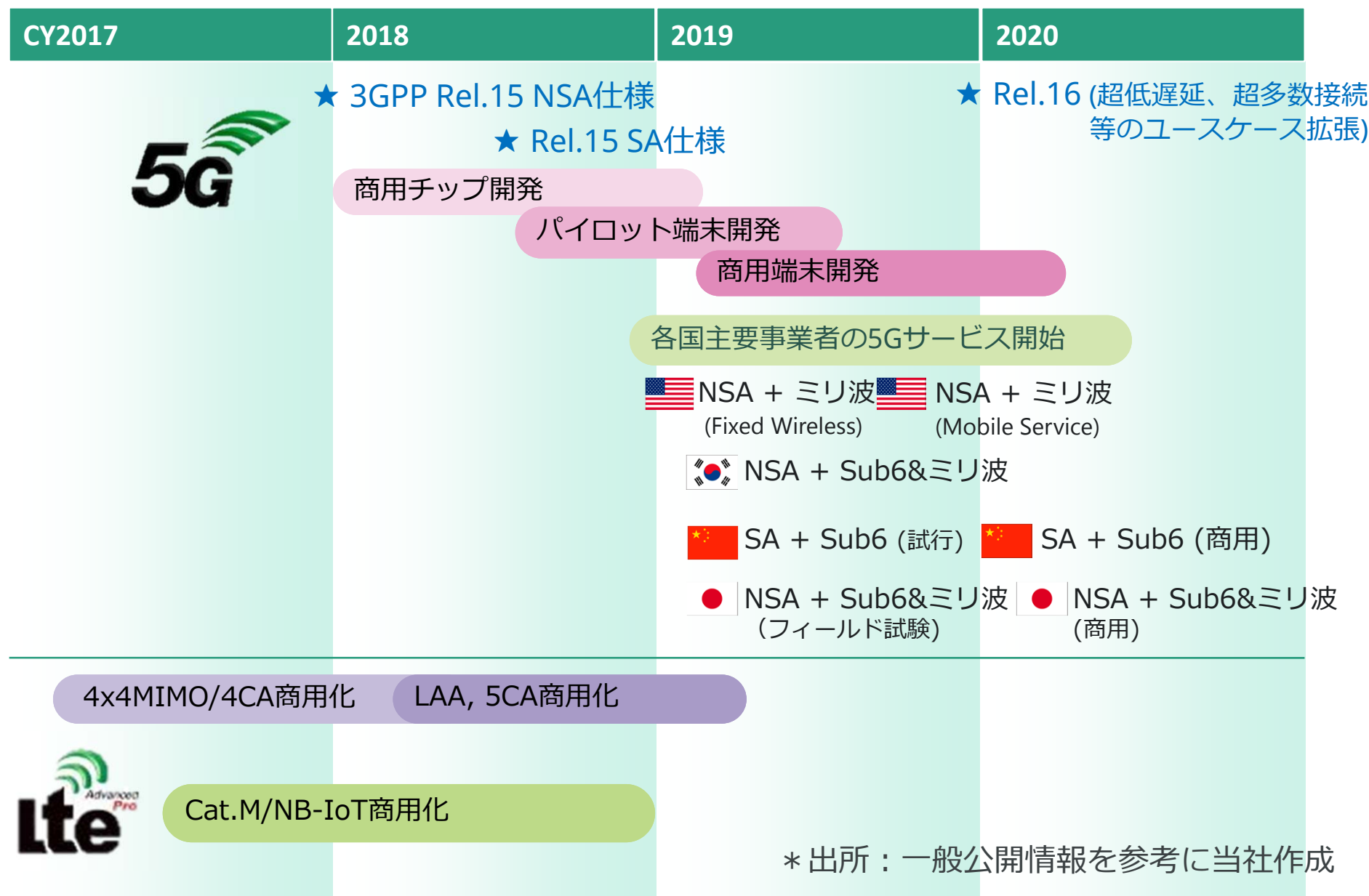


5-4. T&M事業：GLP2020売上高・営業利益計画

5Gを軸に次代の成長事業を
確立する



5-5. T&M事業：5Gサービスのロードマップ



6. GLP2020 PQA事業

アンリツ株式会社
常務執行役員
PQA事業グループプレジデント

新美 眞澄

6-1. PQA事業：中期経営計画(GLP2017) レビュー

事業環境	施策と成果
「安全で安心な食」に対する関心が世界的に高まる ■ 加工食品の需要増、消費期限の長期化 ■ HACCPなどの衛生管理手法が浸透 ■ 抜き取り検査から全数検査へ ヒトによる検査から自動検査へ 品質向上と生産性の両立を求め、検査の自動化が世界的に進行 ■ 生産量の増大、ラインの高速化 ■ 慢性的な人手不足、人件費高騰 ■ 原材料の高騰、食品ロス低減	最先端の品質保証課題の克服に積極投資 ■ 大手食品企業、コンビニエンダーなど品質保証に先進的な顧客と課題を共有 ■ 虫，樹脂，細い骨等の自動検査に投資 品質保証に貢献する新商品を開発 ■ 長寿命で低ランニングコストなX線検査機 ■ 包装シール不良検査用X線検査機 ■ 検査性能を飛躍的に高めた金属検出機 ■ トレーサビリティ構築と生産性向上に貢献するデータ管理システム グローバル企業との関係を強化 ■ 世界最大手の食品・飲料企業や、菓子企業との関係を強化して実績を拡大

6-2. PQA事業：GLP2020 基本戦略

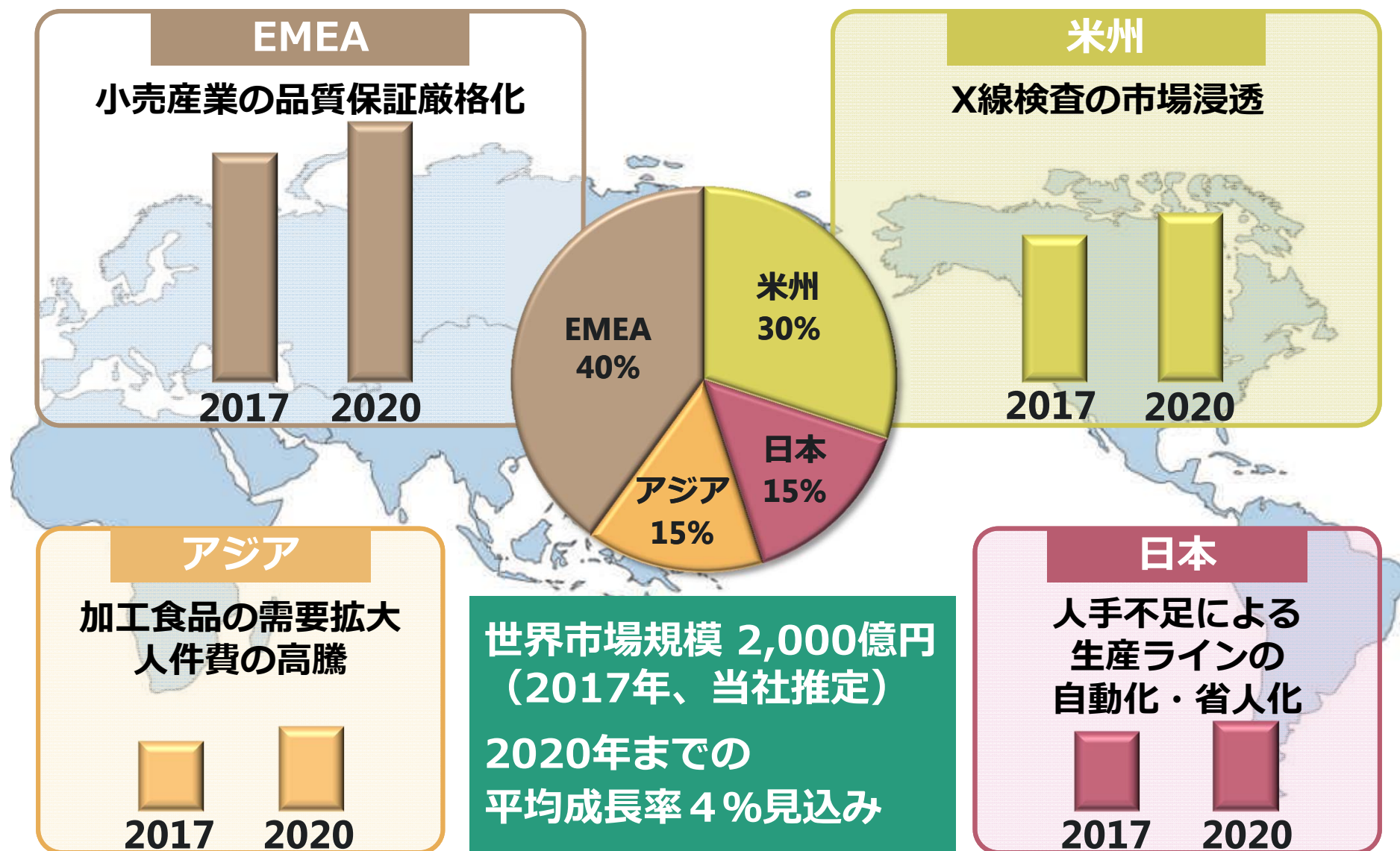
ビジョン

ワールドクラスの品質保証ソリューションパートナーになる

基本戦略

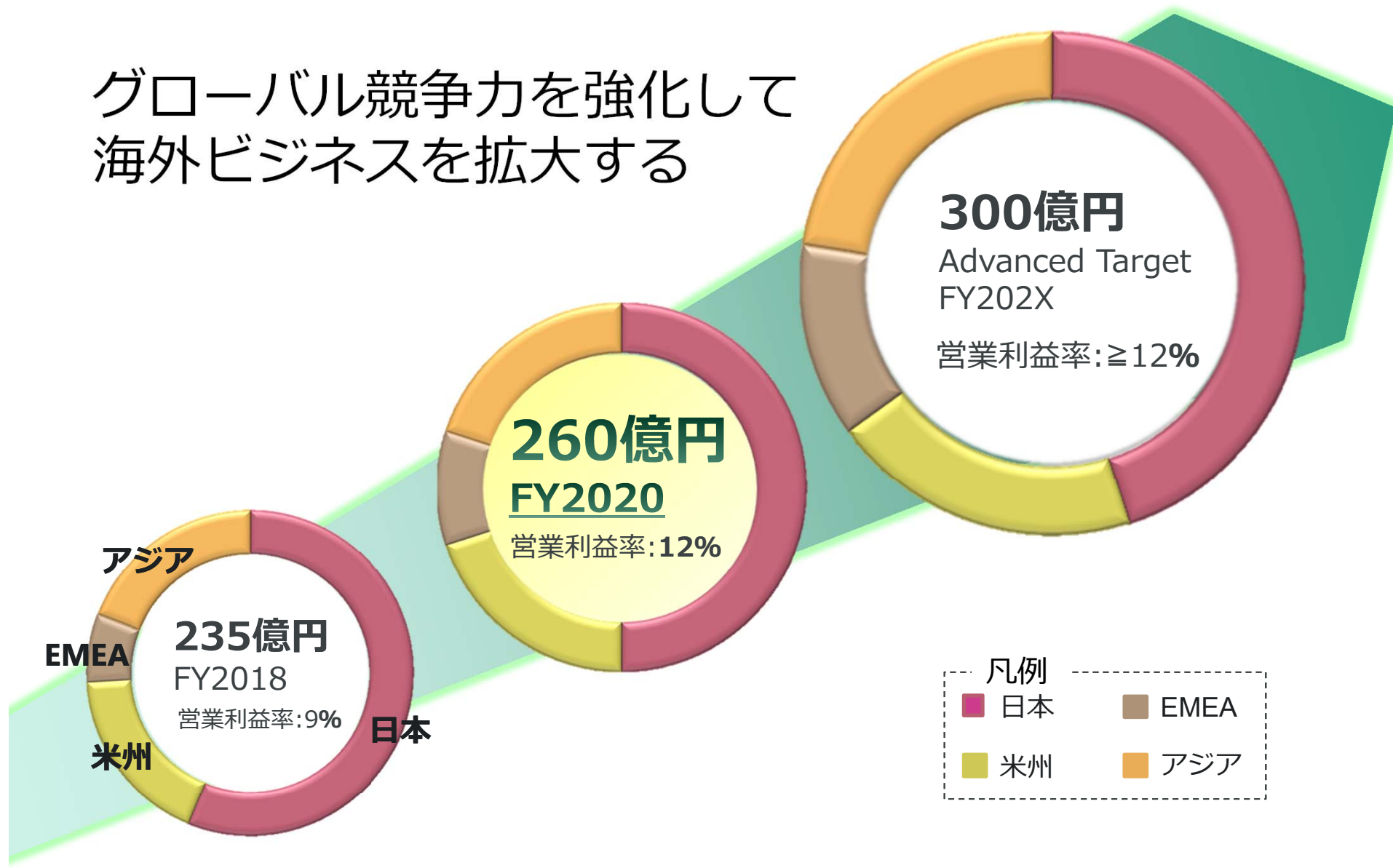
- X線検査機をキー・ソリューションとした欧米先進市場の開拓
- ローカライゼーションによる市場ニーズへの的確な対応とグローバルビジネス改革
- 高付加価値ソリューションと海外ビジネス拡大による利益体質の強化

6-3. PQA事業：PQA市場の現状と見通し



6-4.PQA事業：GLP2020売上高・営業利益計画

グローバル競争力を強化して
海外ビジネスを拡大する





Anritsu
envision : ensure

